

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年2月19日

事業所名 放課後等デイサービス デイライト西宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	階段では遊ばないように周知している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		イベント事に企画・工程・報告書の準備をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・定期的にアンケートの実施。 ・LINEや手紙を配布してやり取りしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	公的な外部評価を実施していないが、保護者や他事業所からのアドバイスを受けてイベントや過ごし方を工夫している。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的にも実施出来ている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一回保護者にアセスメントシートを配布しニーズの聞き取りをしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		計画目標に対して都度の評価を行いモニタリング資料として使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童の個性に合わせて職員間で話し合い決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの要望があれば出来る限り応えられるように努力している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日、休日分けていないが、子ども1人1人に合ったものを設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・毎日、個別/集団で活動する時間を設けている。 ・定期的にモニタリング、支援計画を立案・実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	・送迎やイベント時はより役割分担を入念に行い、平時は始まる前に情報共有をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	翌朝に職員間で振り返り記録としてまとめて共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケース記録や突発的な出来事でも情報共有を行い、モニタリングの際に見直しを行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを行う月も一覽で掲示し、定期的に行っている。		

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		
----	---------------------------------	---	--	--

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		不明なところは調べたり、保護者には送迎時や、連絡を取り合い確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	該当児がいない、今後も受け入れる予定は現状ないが、情報収集を進めていく。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	保護者を介しての情報共有を実施している。	今後は、各園や各事業所と直接情報共有出来るように努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		事業所に該当児がいないが、今後に向けた、情報収集を進めていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		相談支援事業所等への情報共有用に資料を作成し2カ月に1度のペースで共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在は新型コロナウイルスも落ち着いてきたので、今後、力を入れていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後、参加に向けた情報収集を行っている。
保護者への 説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、申し送り、送迎時に細かく伝えられている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		面談は定期的を実施しており、ペアレント・トレーニングは今のところ必要性のある保護者がいられる場合は適宜行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・定期的に面談を希望される保護者には、助言や支援を行っている。 ・面談を通して相談しやすい状況を作り、対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		新型コロナウイルスの観点から多数が集まる機会を設けていない。今後状況を観て開催していけたらと考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		すぐに状況が説明ができようとし、保護者からの意見を受け止め、今後活かせるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・イベント前等、事前に連絡を行い、発信している。 ・HPでのブログやSNS(インスタグラム)で気軽に見られるようにしている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		不要になった個人情報等はシュレッダー等にて外部に漏れないようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		わかりやすい言葉で説明を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		餅つきの機材を自治会に借りたり、地域の火の用心に参加している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		定期的に行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に研修などを行い、職員や保護者にも契約時に説明している。定期的に災害発生を想定した避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		委員会を立ち上げ、職員による研修も実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			該当児がない為、現在は記載されていない。今後の可能性として項目に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーがある子供は事前に保護者に伺い把握している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内でどういう経緯で起ったのかを共有・検討している。	